

日本生体医工学会 平成 28 年度第 8 回理事会議事録

日時：平成 29 年 5 月 3 日(水) 17:00～18:45

会場：東北大学 加齢医学研究所 実験研究棟 7 階 大会議室

<出席者>

理事長：杉町 勝

副理事長：山家 智之

理事：阿部 裕輔、佐久間 一郎（兼関東支部長）、椎名 毅、中沢 一雄、花房 昭彦、
中村 真人（兼北陸支部長）、松本 健郎、村垣 善浩、守本 裕司、
山森 伸二

監事：岩田 彰

<オブザーバー・出席者>

幹事：京相 雅樹

オブザーバー：磯山 隆（事務局長）、工藤 信樹（北海道支部長）、吉澤 誠（東北支部長）、
井上 勝裕（九州支部長）、岡本 英治（第 57 回大会長）、石原 謙（新理事候補・
中国四国支部長）、川田 徹（新理事候補）、木村 裕一（新理事候補・関西支部長代
理）、黒田 知宏（新理事候補）、佐藤 嘉伸（新理事候補）、松田 哲也（新理事候
補）、吉田 正樹（新監事候補）、白石 泰之（第 56 回大会事務局長）

<欠席者>

理事：大城 理、嶋津 秀昭、大須賀 美恵子、増山 理、橋爪 誠、松村 泰志

監事：篠原 一彦、牧川 方昭

幹事：原口 亮

配布資料

議題一覧

- 28-8-2 平成 28 年度第 7 回理事会 議事録（案）
- 28-8-3 入退会状況の件
- 28-8-4 会務分担、委員会、WG の改廃について
- 28-8-5 若手研究者活動 WG（サマースクール含む）の活動状況について
- 28-8-7 ①関東支部規約の改定案について
②関東支部優秀発表賞について
- 28-8-8 九州支部研究奨励賞について
- 28-8-9 第 57 回大会準備状況について

- 28-8-11 専門別研究会評価について
28-8-12 WC2024 の日本誘致へ向けて

1. 理事会成立の件（花房理事）【議事1】

11名出席により、定足数に達し、理事会の成立が確認され、開会が宣言された。

2. 前回議事録承認の件（花房理事）【議事2】

資料 28-8-2 に基づき、内容が確認され、原案通り承認された。

3. 入退会状況の件（杉町理事長）【議事3】

資料 28-8-3 に基づき、退会者が多くあったとの報告があった。表彰（選考）対象者が入会后、短期間で退会した可能性があるため、理事長の方で調査するとのことであった。

4. 会務分担、委員会、WG の改廃について（杉町理事長）【議事4】

資料 28-8-4 に基づき会務の分担について、理事長より負担の軽減等を考えた改廃案が提示され、委員会、WG の統合等の提案がなされた。

5. 若手研究者活動 WG（サマースクール含む）の活動状況について（阿部理事）【議事5】

資料 28-8-5 および別添資料に基づき、サマースクールの開催について活動状況について報告があり、さらに次回開催について告知があった。

6. 支部・研究会における経費の振込手数料の扱いについて（阿部理事）【議事6】

支払者、支払い費目等により振込手数料の取り扱いが異なり、経理上の困難が生ずることについて、今後の取り扱い方法について提案がなされた。支部の手間、事務局の手間、経理上の適法性を考慮した方法で正しく処理する方法が議論された。都度精算の場合、請求書処理を行う方法が無難であるという提案があったが、支部の運営に関連した経費の使用に関して例外のない実施は困難であるとの意見があり、今後も処理方法について検討を続ける必要があることが提案された。また、請求書を一定期間内に処理するように義務付ける等の案も提示された。今年度は立て替え払い、概算請求、請求書により処理し、事務局への通知は可及的速やかに行うように各関連箇所に通知することとした。

各支部の繰越金、積立金について質問があり、取り扱いについて阿部理事から説明があった。また額などの状況について、理事会に報告していただくよう、依頼があった。

7. ①関東支部規約の改廃案について（佐久間関東支部長）【議事7】

資料 28-8-7-①に基づき、規約の改定案が提出され、審議の結果承認された。

8. ②関東支部優秀発表賞について（佐久間関東支部長） 【議事7】

資料 28-8-7-②に基づき、優秀発表賞に関する規定案が提出され、審議の結果承認された。

9. 九州支部研究奨励賞について（中沢理事） 【議事8】

資料 28-8-8 に基づき、同賞の申請書が審議され、承認された。

規程上、選定委員会の構成はM系・E系の委員がそれぞれ少なくとも1名以上含まれていなければならない。M系・E系の定義について質問があり、その意図等について確認がなされた。

10. 中国・四国支部若手研究奨励基金規約について（石原中国・四国支部長）【追加議事】

当日配布の資料に基づき、案が提出され、審議された。

第一条の条文、「旅費・参加費の一部を補助」に問題が指摘され、後半の補助に関する文言を削除することになった。また、これに伴い、条文の手続き 2.についても文言を修正することになった。上記修正案を今後メール審議にかけることとなった。

11. 大会準備状況について（岡本第57回大会長） 【議事9】

資料 28-8-9 に基づき、大会の準備状況について説明があった。

12. 第58回大会について（山家副理事長） 【議事10】

今後の方針として、関東支部が計画を進めることが確認された。

また、2020年度大会を岡山大の成瀬先生お願いする方向で進めていることが報告された。

さらに、今後の公益財団法人としての学会大会運営のあり方、進め方について、注意すべき点等が確認された。

13. 専門別研究会評価について（磯山事務局長） 【議事11】

資料 2-8-11 に基づき、評価結果の報告があった。問題点が指摘された研究会について審議がなされ、「精神・睡眠医療とME」については存続が提案された。「ニューロリハビリテーション・ロボティクス」については解散やむなしという評価であった。また新規申請1件については、すでに理事会への申請が行われていたことを確認し、新規研究会として了承された。また「Active aging を支援するバイオメディカル工学研究会」については、支給額の正しい数値は2.5万円ではないかとの意見があり、確認することとなった。

14. WC2024の日本誘致に向けて（椎名理事） 【議事12】

WC2024の誘致を目指すのであれば、すでに準備を開始すべき時期となっていることが説明された。また資料 28-8-12 に基づいて計画の紹介と、協力の依頼があった。また、招致

委員会の設置についての承認が求められ、了承された。

15. その他 【議事13】

資料の回覧があった。回覧された資料は、入退会者の詳細、協賛、各種資料についてであった。